

ト”なセッティングはありません。必要がなく、又好ましくもないからです。

現在、いくつかのモデルには、ブル/ブーストが各レンジに備わり、更に新しいドラマ・チックな音を可能としています。

時代を超えて、フェンダーリバーブカントリー&ウエスタンからニューウェーブまで、フェンダー独特のリバーブサウンドは、現代の音楽に欠かせぬ要素となっています。その機能をフルアップにして使えば、60年代初期のあのサーフィン（ハワイアン）ギターに代表されるサウンドが得られ、このリバーブ音こそが今でも最も人気があり、数多くのモデルに参考とさせた効果音なのです。多重スプリングレイユニット、トランスデューサー、真空管ドライブ、フィードバック回路などの組み合わせにより、微妙な響きから驚くほど深い残響効果まで自由自在にコントロールできます。

チューブディストーションは マスターボリュームのアイデア

このフェンダーの発明により、アンプを最大出力にすることなしに自然



なディストーションとサスティンが得られるようになりました。プリアンプのボリュームをフルにセットして、マスターボリュームを操作すれば、ナチュラルなチューブディストーションが小さな音量でも発揮することができます。

アクセサリ端子

エフェクターの入出力ジャックはペダル、その他のエフェクターを、S/N比の良い状態でつなぐことができます。また録音用出力は、パワーアンプ回路の特性を生かすため、メインアンプの出力に直結されています。

楽器専用スピーカーの研究

フェンダーは、過去30年来、あらゆる楽器用スピーカー製造に密接に提携し、スピーカーの研究を進めてきました。その結果、どんなに良いスピーカーでも、すべてのプレイヤーを満足させることはできないという一つの結論に達しました。スピーカーのサイズをはじめ、ブランドを各種そろえているのはそのためです。フェンダー独自のスピーカーに加え、フェンダーアンプのほとんどが、エレクトロボイス又は、JBLスピーカーのマウントが可能です。ビルトインタイプ、そしてセパレートタイプのキャビネットにしても、フェンダーの多くの経験が生かされた各種スピーカーが、あなたの探し求めているサウンドの実現をお約束いたします。

ヘビーデューティな キャビネット構造

最近では、どのメーカーも生産性を高めるためにコストダウンに、やっきとなっていますが、フェンダーではアンプとスピーカーのキャビネット構造に著しい改善を加えました。ビルトインタイプは頑丈な松材を使用、横側はしっかりとしたボックスジョイント、そして重量のかかる角

には、更に外側にメタルで補強してあります。スピーカーのバツフルは13層の強度の高いフィンランドかばの合板を使用しています。ベース用リフレックススピーカーエンクロージャーは高密度合板を使い、

内装には強度を高め、よけいな振動をおさえるための支柱が組み込まれています。これらが黒の強化ビニールで覆われており、最もヘビーデューティなキャビネット設計といえます。

